R.I. District2610,　ROTARY　CLUB　OB　UOZU

魚津ロータリークラブ会報誌

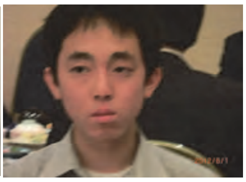
２０１１－２０１２年度　ＲＩ会長　　　カルヤン・バネルジー
２０１１－２０１２年度　魚津ＲＣ会長　寺崎　明博

こころの中を見つめよう　博愛を広げるために

２０１２－６－０１

第２８２６回　　例会報告

（１）点鐘
（２）国歌　「君ケ代」　斉唱
（３）ロータリーソング　　「奉仕の理想」
（４）「四つのテスト」唱和
（５）ゲスト紹介
・魚津工業高校　機械科　３年　野澤亮輔君
・魚津工業高校　情報課　２年　米丘　輝君
・魚津工業高校　特別活動部長　杉本先生
（６）誕生祝　　　なし



（７）会長挨拶　　　寺崎明博　会長

魚津工業高校のみなさん、先生ご苦労様です。根岸さん、お久しぶりです。
　皆さん今日は６月1日で只今国歌とロータリーソングを歌いました。「君ケ代」は寺崎年度にとって最後になりました。私にとっては大変意義のある国歌斉唱となりました。皆さんはなぜ歌を歌うのか考えたことがありますか。この話をすると、また挨拶が長くなりますから簡単に話をしますと団体で歌う歌には小学校の校歌から「君ケ代」まで沢山有りますが、その中にはロータリーソングもあります。私が始めて例会に参加した時、皆さんの歌を聞いて何か異様な気持ちになったことを今も忘れません。歌の中にはその団体の理想、行動、目的が入っております。歌とは全員がその意味を完全に理解しなくては歌はなくてはならないというものではなく、歌ううちにだんだんその意味が解かっていく。ロータリーソングにしても始めは何かと思っていても例会の度に歌っていくうちにロータリーの精神が理解できるようになります。これからもロータリーソングを歌いましょう。
　それでもう一つ。会長ノミニーに若井貞克さんが先の理事会で承認されました。全体で皆さんの承認をお願いします。（拍手多数）。

（８）次年度会長ノミ二ー　　若井貞克君

皆さんの賛同のもとにノミ二ーとして選ばれまして胸がドキドキしています。諸先輩の皆さんが５０数年のロータリーの歴史を作ってこられたのに泥をぬらないように、私も野澤さんの次に頑張っていきたいと思っております。宜しくお願い致します。それといろんな委員会にご指名されますが、いやな顔をせずに受けて頂きますようお願いします。

（１０）幹事報告
・今日の例会の後、理事会を行います。
（１１）出席報告
・今日の出席者は３５名、出席率は１００％です。メークアップは坪井さんです。
・２８２４回の出席率はメークアップなしで７１．４２％変わりなしです。
（１２）ニコ・ボックスの報告
・宮本汎さんより欠席のお詫びです。
　今月追い込みですので、ニコ・ボックスをどんどんお願い致します。

（１３）委員会報告

・広報委員会より（谷　峰行君）報告します。

ロータリーの友６月号の紹介します。

横書き１１ページ「ロータリーでいう親睦とは？」では、ロータリーの原点は親睦と奉仕です。

縦書き２ページには「いのちをつなぐもの　大震災とホワイトバード」と題してドクター・ヘリを紹介しています。東日本大震災が昨年３月１１日発生し、早くも１年経ちました。このロータリーにも関係者がおいでです。中島久義さんと私（谷さん）です。

私は６月一杯でロータリーを終了します。新しい人に代わります。ありがとうございました。

（１４）会長エレクトより報告　　野澤良成次年度会長

- 次年度の活動計画書を至急事務局へ提出して下さい。
- 次回（６月８日）の例会」終了後１時間、次年度の委員長、副委員長会議を行います。宜しくお願いします。
- インターアクト地区委員会より、５月３０日金沢へケントアストクラブより９名来られました。
- 明日、２日、３日、第１回全国のインターアクト研究会が兵庫県であります。参加してきます。

（１５）ゲスト卓話　　　「インターアクト海外研修の報告」

・魚津工業高校　特別活動部長　　杉本先生

今年４月上市高校より魚津工業高校にきました。２０年ほど前、魚津工業にいました。その当時は魚津工業高校にはインターアクトクラブには多くの生徒がいましたが現在いません。ただ絶えてはいけないということで生徒会が引き継いでいます。オーストラリア体験談をします。

・魚津工業高校　機械科　３年　　　野澤亮輔君

・魚津工業高校　情報環境科　２年　米丘　輝君

３月２１日（水）成田空港よりシドニーに出発しました。

３月２２日朝、シドニーに到着。午前中は市内観光。午後ケントハーストに向う。夕方、ホストファミリーと対面する。暖かく迎えてもらいました。

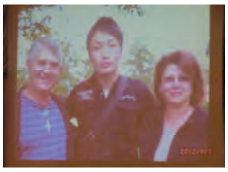
３月２３日（金）「学校訪問と交流｝

３月２４日（土）午前はオーストラリア最大の動物園見学。コアラやカンガルー等を見る。午後は先住民アボリジニーを訪問する。

３月２５日（日）終日フリータイム。夜はさよならパーテイがあり、感謝の手紙を渡しました。

３月２６日（月）ファミリーと別れシドニーへ。終日自由行動。

３月２７日（火）帰国。



学んだこと
・気候は乾燥し、気温は２０度～２７度ですごしやすかったです。
・ホストファミリーの皆さんは大変親切でうれしかったです。
・日本とオーストラリアの歴史の違いです。
・水が大変きれいでした。
・海水浴場には、時々サメが来るので、レスキューが常時監視していました。
・英語の勉強不足です。食事の時、英語だけでなく、自分の意見が伝えられませんでした。
・これが人生の大きな財産になりました。ありがとうございました。
・国際交流には語学力が必要であると痛感しました。これからは今まで以上に勉強します。
・来年も行きたいです。
ロータリークラブの皆さん、ありがとうございました。

あとがき

例会に先立ち、会員増強委員会が開催されました。
・新入会員の件について慎重に、活発に、意見の交換がありました。

・新年度を向かえ、所属会社の人事異動により、ロータリー会員の変更がある時期になりました。
広報委員会で谷峰行さんが報告されましたが、今度㈱新川インフォメーションセンター社長を勇退されると聞きました。草創期、発展期、そして転換期を精力的にマネージメントされてこられた谷社長には感慨深いものがあると拝察いたします。
また、北陸電力（株）新川支社長の須河元信さんも栄転されると聞きました。福島原発事故以来、原発に対する国民の意識が激変する中、大変な思いをされたことと拝察いたします。
「どこで会っても　やあと言おうよ！
見つけた時にや　おいと呼ぼうよ！
遠い時には　手を振り合おうよ！」
いずれも益々ご健勝で、社会奉仕、職業奉仕、家族奉仕にご精進されますようご祈念いたします。

・最近の子供は少子化傾向によって、おとなしすぎるのではないかという意見が多く聞かれます。
しかし、それは生きるための術なのでしょうか。
昔は３人、４人は普通であり、食料不足もありましたので、おとなしくしていると自分には与えられないと必死でした。ところが子供の数が１人～２人ですと、それはそれは大変大事に育てられます。
この現象は人間だけでなく、ツバメの世界にもありました。
わが家の軒先（スタンド）に家を構えたツバメ君（命名なし）の家族（３人）は先先月より子作りに精を出している。普通は雄・雌の対で子を育てるものと決まっていると思いますが、今度の場合は、３羽で行っているのです。人間社会では三角関係でうまく行かないのに、ツバメの社会は問題なく実行されています。
良く環境を観察してみると、向かいの杉の樹にからすの勘太郎の家があります。夜には勘太郎はじめ一家５人（？）が集合します。ツバメの天敵だそうです。からすが近ずくと３羽のツバメは小さい体で必死に突撃をします。
ところがツバメの子供の声が全く聞こえないのです。良く見ると、どうも１～２羽ぐらいしかいないようです。ツバメも少子化なのでしょうか。天敵からすに対抗し、生き残るための術なのでしょうか。
３羽で１～２羽の子を大切に、安全に、命がけで育成する政策なのかと考えさせられます。
ちなみに、昨年は全部カラスに捕られました。
今年こそ　全員元気で育つよう　社員総出で応援しています。
頑張れ！スワローズ。

（平成２４年６月５日）